

アウトカム指標(成果指標)一覧表(案)

基本目標	基本的施策	アウトカム指標(平成26年度計画策定時)	現状値(平25)	目標値(平34)	➡	アウトカム指標(見直し案)	現状値(平25)	目標値(平34)	【参考】 国目標値(平37)	【参考】 県目標値(平37)	出典
【基本目標1】 住み慣れた地域で安心・安全・快適に暮らせる住宅・住環境の形成	1-1 人にやさしい住宅・住環境づくり	①高齢者が居住する住宅のバリアフリー化率	43%	81%	目標値見直し	①高齢者が居住する住宅のバリアフリー化率	43%	66%	75%	75%	住宅・土地統計調査(5年ごと)
		②共同住宅共用部分のユニバーサルデザイン化率	11%	25%	目標値見直し	②共同住宅共用部分のユニバーサルデザイン化率	11%	15%	—	—	住宅・土地統計調査(5年ごと)
	1-2 災害に強い住宅・住環境づくり	③住宅の耐震化率	79%	90%(平27)	目標値見直し	③住宅の耐震化率	79%	90%(平32度末)	[耐震性無し の住宅率] おおむね解消	87%(平32)	住宅・土地統計調査(5年ごと)
【基本目標2】 誰もが安定した居住を確保できる多様な仕組みの構築	2-1 多様な住宅セーフティネット機能の充実	④最低居住面積水準の未満率	4.5%	早期解消	変更なし	④最低居住面積水準の未満率	4.5%	早期解消	早期解消	早期解消	住宅・土地統計調査(5年ごと)
	2-2 適時・適切な住み替えを実現する仕組みづくり	⑤子育て世帯における誘導居住面積水準の達成率	48%	50%	目標値見直し	⑤子育て世帯における誘導居住面積水準の達成率	57% ※訂正	増加させる	50%	増加させる	住宅・土地統計調査(5年ごと)
【基本目標3】 環境負荷の低減に貢献する住宅・関連市場の形成	3-1 住宅のライフサイクルを通じた環境負荷低減	⑥新築住宅における認定長期優良住宅の割合	13%	26%	目標値見直し	⑥新築住宅における認定長期優良住宅の割合	13%	17%	20%	20%	市調査、住宅着工統計調査
		⑦省エネルギー対策率	44%	58%	目標値見直し	⑦省エネルギー対策率	44%	59%	—	63%	住宅・土地統計調査(5年ごと)
	3-2 リフォーム市場の環境整備	⑧リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合	5.9%	9.2%	目標値見直し	⑧リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合	5.9%	7.7%	—	—	住宅・土地統計調査(5年ごと)
	3-3 住宅ストックの適正管理	⑨住宅の利活用期間(滅失住宅の平均築後年数)	約35年	約45年	目標値見直し	⑨住宅の利活用期間(滅失住宅の平均築後年数)	約35年	約39年	—	—	住宅・土地統計調査(5年ごと)
3-4 中古住宅の流通市場の活性化	⑩既存住宅の流通シェア	17%	22%	新たな指標設定	⑩中古住宅への住み替え意向の割合	43%	増加させる	—	—	住生活総合調査(5年ごと)	
【基本目標4】 多様な暮らしを実現する魅力ある住環境づくり	4-1 農村集落におけるゆとりある住環境の保全	⑪「住宅の広さや間取り」に対する満足度	73%	増加させる	変更なし	⑪「住宅の広さや間取り」に対する満足度	73%	増加させる	増加させる	増加させる	住生活総合調査(5年ごと)
	4-2 市街地における良好な住環境の形成	⑫住宅のまわりの「まちなみ、景観」に対する満足度	66%	増加させる	変更なし	⑫住宅のまわりの「まちなみ、景観」に対する満足度	66%	増加させる	増加させる	増加させる	住生活総合調査(5年ごと)